

うた

風と樹の詩

～いまをみつめて～

社会福祉法人砂町友愛園
砂町友愛園養護部 施設長 河上準一
〒198-0172 東京都青梅市沢井 1-506
☎0428-78-8388 fax0428-78-9104
<http://www.sunamachi-yuaien.or.jp/>
2024年 秋号

理事長 就任 挨拶

理事長 加藤 純



この季節、青梅線の軍畑駅から養護部までの坂道を歩くと、谷久保沢の水流と杉檜の芳香に満たされて、森林浴の心地よさを味わえます。

さて、長年、砂町友愛園理事長としてリーダーシップを発揮して来られた原嶋曜子・前理事長からバトンを受け取り、本年5月、砂町友愛園理事長に就任いたしました。

原嶋前理事長の在任中2020年にはグループホームあおぎりが開設されました。恵まれた環境の中、地域の皆様に支えられて子どもと職員が共に生活しております。

砂町友愛園は、1933年に城東区北砂で、託児部、児童部、相談部を開設してから91年の歩みが続けて参りました。昨年6月には、『創立90周年記念誌』を発行するとともに、多くの皆様のご臨席を賜り90周年記念式典を開催できました。これまでの砂町友愛園の歩みを支えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。

90周年記念式典では、サヘル・ローズさんが講演を通して、サヘルさんのために自分の人生を賭した養母や、困窮する母子を救ってくれた人達との出会いについてお話していただき、困難な状況に置かれている子どもの人生に関わることの意義を伝えていただきました。

本年6月に児童福祉法が改正されて、施設入所や一時保護を決める際に、子どもの意見を尊重する仕組みが整備されることとなりました。また、施設入所の年齢の上限が無くなり、20歳を越えても支援を受けられることになりました。これまで以上に、一人ひとりの子どもに真摯に向き合うことが求められています。

創設者・井上西之進先生が子どもたちに注いだ想いを大切にして、養護部と保育部の働きが、今を生きる子どもたちのために資するものであり続けるように、皆様と共に、努めて参りたいと思います。皆様の暖かいご理解とますますのお力添えを賜りますように、よろしくお願い申し上げます。



夏

杉の子祭

新型コロナウイルス感染症の大流行により、数年間開催を見合わせていた「杉の子祭」でしたが、今年度は流行状況の落ち着きも見られたため久しぶりに外部からの方々も招いて開催されることになりました。

これまでと変わらぬ形での開催を係で企画していききましたが、職員や子どもの入れ替わりにより杉の子祭の経験が無かったり、ベテラン職員の中でも感覚を忘れてしまっていたりといったこともあり、準備段階から丁寧、慎重に進めていきました。しかし当日はあいにくの雨天に見舞われ、それこそ皆が初経験となるような杉の子祭となりました。ですが、雨天にもかかわらず



たくさんの来賓や卒園生の来場をはじめ、盛況のうちに締めくくる事が出来ました。子ども達からは楽しかったという声やお手伝いを意欲的に出来たという声も聞かれ、子ども達にとっても職員にとっても良い経験となったと思います。



臨海

昨年度に引き続き今年度も夏の恒例である臨海行事を行いました！！

7月22日から24日の2泊3日で夏休み子ども達と千葉県南房総の海へ旅行に行ってきました。天候も良好で海水浴日和の旅行となり、子どもたちも夏らしい行事を満喫する事が出来ました。

海で思い切り泳ぐ子、ボートからダイナミックに飛び込む子、

浮き輪を使って気持ちよさそうにプカプカと浮かぶ子、浅瀬で砂遊びに没頭する子、磯でカニや魚などを必死に探し観察する子、、、子ども達それぞれが思い思いに楽しんでいました。暑い日差しの中、皆で食べたおやつのはアイスサイコーに美味しかったです。また、宿では恒例のビンゴ大会やカラオケで大盛り上がりし、美味しいごはんも沢山いただきました。夜には花火も行いました。風が強く打ち上げ花火を中断する事になってしまったのは残念でしたが、手持ち花火は

目いっぱい楽しみました。各場面で、子どもたちが元気に遊ぶ姿や、協力し合う姿、年長児が年少児の面倒を見る姿、また、子どもの意外な一面などが見られ、私たち職員は子どもたちの成長を感じる3日間となりました。また、臨海を終えた子ども達からは早速「3日間では物足りない」「来年の臨海が待ち遠しい」等の声が上がっており、今年も一人一人の夏の思い出として心に残る楽しい臨海行事だったと思います。



秋

いつも英語ボランティア
でお世話になっている
タウンさんとその近隣の方



のお宅へ訪問しハロウィンイベントをしていただきました。仮装のマリオ&ルイーザやお姫様、ドンキーコング、ウォーリーなどに会いながら、いたずらしない代わりに沢山のお菓子をいただきました。子どもたちは怖がりながらも皆楽しむことが出来たようです。ありがとうございました。



横田基地通信部隊の方たちが遊びに来てくださいました。ジャンピングハウスやコーンホール等の遊具をご用意

いただき、子ども達は全力で楽しんでいました！昼食にはピザを食べ、アメリカなジュースやお菓子の味に興味津々な子ども達。仮装をして「トリックオアトリート！！」の言葉が飛び交うとても楽しいイベントとなりました。玩具や文具、衣類など沢山のご寄附もいただき、ありがとうございました。

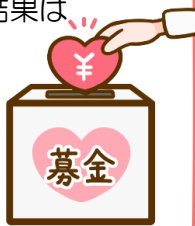


共同募金

10月上旬に赤い羽根共同募金の活動を行いました。近年、街頭での活動が出来ない年が続いたので、初めて活動に参加する子どもたちもいましたが、頑張って大きな声を出してやってくれました！「頑張ってね」と声を掛けてくださる方もいて、温かい気持ちになりました。

頂いた募金の集計結果は、
26,414円となり、
東京都共同募金会
に送金させて
頂きました。

ご協力ありがとうございました。



お~ちゃんフェスタ

9月15日のお~ちゃんフェスタ2024に参加しました。缶飲料販売、フランクフルト、ヨーヨー釣りの3品目を出品しました！

毎年参加しているお~ちゃんフェスタですが、缶飲料販売は初めての試み。炎天下のなか子ども達自ら商品を手にとり、張り切って売り込みをしてくれました。



お楽しみ行事

11月3日、子ども達と一緒に東京ディズニーシーに行ってきました。日頃の生活から離れ、夢のような空間で思いっきり楽しむ子ども達の姿がとても印象的でした。アトラクションやパレードを通じて、笑顔や歓声が絶えず素敵な時間を過ごす事が出来ました。子ども達からは「楽しかった。」「また行きたい。」という声が多かったです。こうした特別な経験が子ども達にとって、心の成長につながる事を願っています。引き続き、笑顔あふれる環境づくりを心がけてまいります。



園内研修

9月10日に園内研修が行われました。今回は株式会社 Professional Works の島田先生をお招きして講義をしていただきました。研修内容は「モチベーションをマネジメントしてみよう～やる気のスイッチ探し～」と題して、そもそも私たちがよく使う言葉【モチベーションが上がる】とは？というわかりやすい問いからお話していただきました。モチベーションを英訳すると、【意欲】と出てきますが、和訳すると【動機】と変換されるそうです。やる気（意志）は、意欲（欲）と動機付け（理由）で上がっていくので、「こうしたい！」というやる気と、【①それを実現するための具体的な行動を決めること】【②それを実際に継続して行うこと】を実践することでモチベーションは自然と上がるそうです。「自分の機嫌は自分で取る」とよく言いますが、他人のやる気や意欲を引き出すのは難しく、自分のやる気や意欲を意識して引き出すことも難しいかと思います。島田先生はそんな時「動機付け」の方法を考えることが大切とのお話をされていました。動機付けには種類があり、外部（他人）から受ける要因がきっかけで起こる外発的動機付けと、自ら興味関心を持ち意欲が沸き起こる内発的動機付け、やりがいや目標を明確にして成し遂げたいという気持ちから起こる（達成動機付け）があり、他者に与えられるものではなく自分で考えること、自らの考え（ビジョン）を他者に伝えること、知り続け、問い続けることで自らのモチベーションをマネジメントし、【モチベーションを上げる】ことに繋がっていくのではないかと教えていただきました。今回の園内研修を通して、子どもたちにとっても職員にとってもよりよい環境にするために、一人ひとりが意識して行動していきたいと感じました。



新入職員紹介！



名前：西脇 美秋（事務員）
 目標：より円滑に業務をこなす
 好きな食べ物：程よく辛いもの
 好きなキャラ：ピカチュウ
 座右の銘：生きてるだけで丸儲け



名前：平山 純会（児童指導員）
 目標：腹筋を割る
 好きな食べ物：キャベツ
 好きなキャラ：スヌーピー
 座右の銘：初心わすれるべからず

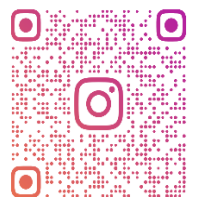
社会的養護総合情報サイトチャボナビを利用しています

施設見学会
 (毎週火曜日)
 オンライン座談会
 (毎週土・日曜日)
 それぞれ開催中！

様々な社会的養護施設が紹介されています。当施設では左記のイベントを開催しています！ サイトより「砂町友愛園 養護部」を検索してお申込みください。

Instagram 更新しています！

園内の様々な出来事を発信しています
 「風と樹の詩」には収まり切らない情報をたくさん載せています。
 ぜひフォローお願いします☆
 投稿の一部をご紹介します。



SUNAYU.YOUGO

